

# 島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用又は他の研究機関への提供を希望されない場合は、下記の「本研究に関する当院の連絡先」にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	線維素溶解療法（ウロキナーゼ使用）不可に伴う膿胸および肺炎随伴性胸水に対する治療の変化についての検討
意義・目的	膿胸および肺炎随性胸水に対してウロキナーゼを使用した線維素溶解療法を当院では積極的に行ってきました。しかし、ウロキナーゼの供給停止により当院では2022年4月19日より使用不可となり、治療方針の変更を余儀なくされました。このため、ウロキナーゼを使用した線維素溶解療法が不可になったことによる膿胸および肺炎随性胸水に対する治療、転帰の変化について考察します。
研究期間	当院病院長許可日（利用開始日）2025年4月3日～2026年3月31日
対象患者	2020年4月1日から2024年3月31日までに当院で膿胸および肺炎随伴性胸水に対して胸腔ドレナージで加療された患者さん。
研究内容	ウロキナーゼ使用不可となった2022年4月19日より前の症例を「前」、後の症例を「後」の2群に分け、その2群間で、RAPIDスコア、膿胸に対する手術の有無、入院から手術までの日数、治療費、入院日数、転帰（軽快、死亡）を比較します。また、重症度による2群間比較を行います（例えば、リスク高の症例における「前」、「後」の転帰の違い）。 なお公表する際には、個人を特定できる情報は削除します。
利用する試料・情報の項目	年齢、性別、重症度リスク評価（血清アルブミン値・BUN、膿性胸水か否か、市中/院内発生か、併存疾患（糖尿病、心疾患など）・治療（膿胸に対する手術の有無、入院から手術までの日数）、線維素溶解療法（ウロキナーゼ使用）の有無）、治療費、入院日数、転帰（軽快、死亡）等のデータ。
試料・情報の他機関への提供有無	<input type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 海外） 提供方法： <input checked="" type="checkbox"/> なし
研究組織	研究代表機関：機関名および研究責任者名 島根県立中央病院 呼吸器外科 阪本 仁  共同研究機関：機関名および研究責任者名 該当なし  試料・情報提供を行う機関：機関名および施設長名 該当なし

本研究に関する当院の連絡先	研究責任者： 島根県立中央病院 呼吸器外科 阪本 仁 電話：0853-22-5111（代表）  事務担当： 島根県立中央病院 臨床研究・治験管理室 電話：0853-30-6590（直通）
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。 URL： <a href="https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy">https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy</a>
結果の公表	投稿論文として公表します。
備考	